

multilingual translation >

You can get information about
Yonago on your smartphone.



音声読み上げ・多言語翻訳は「カタログポケット」で

みず・まち・自然 エンジョイ！米子

広
報

よなご

1

2026
January
No.250

だんだんバス



特 集

バスでGO!

米子市長 伊木 隆司

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、新年を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、米子市と淀江町の合併から20年の節目を迎え、たくさんの記念事業を実施しました。その中でも、「新米子市発足20周年記念セレモニー」には多くの方にご来場いただきました。また、

韓国東草市との姉妹都市提携30周年、米子水鳥公園開園30周年の年でもあり、それぞれ記念式典を開催し、盛大にお祝いしました。

まちづくりにおきましては、「住んで楽しいまち よなご」の実現に向け策定した、第2次米子市まちづくりビジョンに基づき、地域公共交通の利便性向上を図るため、弓ヶ浜コミュニティバス「よねぎーバス」に加え、新たに箕蚊屋地区コミュニティバス「みのりんバス」の実証運行を開始しました。さらに、地域社

会の活性化及び市民サービスの向上をめざし、米子駅から鳥取大学医学部附属病院までの区間において自動運転バスの実証運行を開始しました。また、東山公園エリアでは、市民球場をリニューアルオープンするとともに米子アリーナ整備等事業をスタートさせました。同エリアは、防災機能を備えた県西部のスポーツ拠点として生まれ変わります。

観光面に目を向けますと、米子ー台北便の就航も好要因の一つとなり、昨夏の外国人客滞在増加率が全

国第2位となりました。年末には、米子ーソウル便が増便しディリー運航となりましたので、さらなる観光誘客に取り組んでまいりたいと思います。

迎えました令和8年は、「住んで楽しいまち よなご」の実現に向けた取り組みを加速してまいりますので、引き続き、市政へのご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとって実り多き年となりますようお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

新年のごあいさつ

米子市議会議長 岡田 啓介

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より議会運営並びに議会活動に対しまして、深いご理解と温かいご協力を賜り、心から厚く感謝申し上げます。

昨年、日本全体ではとりわけ「2025年問題」が現実化し、医療・介護の体制維持や社会保障費の

持続可能性が大きな課題となりました。また、経済面では、賃上げの動きが見られたものの、依然として物価の高騰は市民生活を圧迫し続けました。一方で、大阪・関西万博が成功裏に閉幕し、日本の技術と文化を世界に発信したことは、地方都市にも大きな刺激と希望となりました。

また、水泳飛び込み競技の世界選手権大会や東京デフリンピックでは、米子市にゆかりのある選手たちの出場や活躍など、郷土の誇りとなる嬉しいニュースがありました。

このような中、本市を含め自治体は、超高齢社会に対応するための医療・介護体制の維持、物価高騰を乗り越えるための地域経済の活性化など、厳しい課題に直面しております。未来を担う子どもたちへの投資を継続しつつ、市民と協働し、市民生活の安心と持続可能性の確保に向けた様々な課題解決が求められています。

市議会においては、現在、4年ごとに実施している「米子市議会基本条例」の検証を行っており、さらな

る市民福祉の向上と公正で民主的な市政の発展に寄与するため、公平で真摯な議論を重ねていくところであります。今後も、市民に選ばれた代表として市民の皆様の声を行政にしっかりと届けるとともに、わかりやすく開かれた議会を目指して、公平性や透明性のある議会運営に努めてまいります。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和7年 市政主要ニュース

昨年を振り返り、米子市政に関する主要ニュースを10項目選びました。

米子市と淀江町の新設合併20周年

旧米子市と旧淀江町が合併して発足した新市「米子市」は、2025年3月31日に発足20周年を迎えました。

5月に開催した「新米子市発足20周年記念セレモニー」をはじめ、年間を通してさまざまな催しで節目を祝いました。



歩いて楽しいまちづくり施策の推進

「歩いて楽しいまち」の実現に向け、10月には箕蚊屋地区コミュニティバス「みのりんバス」、12月には駅前で自動運転バスの実証運行を始めました。公共交通の利便性向上を図りながら、歩いて楽しいまちづくり施策を推進しました。



米子水鳥公園開園30周年 中海ラムサル条約湿地登録20周年

米子水鳥公園が開園30周年を迎え、開園日である10月22日に記念式典を開催しました。また、水鳥公園が位置する中海もラムサル条約湿地登録から11月で20周年を迎えました。今後も中海の保全再生、賢明な利用、交流学習を官民一体となって進めます。



米子市・束草市の姉妹都市提携30周年

米子市と韓国・束草市は、姉妹都市提携30周年を迎えました。5月には束草の芸能団「束草市立風物団」が米子市で、10月には「米子がいな万灯振興会」が束草市で公演するなど、交流を深めました。



国際線の新規就航・増便！ 受入環境整備を強化

米子鬼太郎空港と台湾・桃園国際空港を結ぶ直行便が5月29日に就航しました。また、12月23日からは米子ソウル便が毎日運航するようになりました。これを受け、飲食店でのメニューの外国語表記や簡単に注文できるセットメニューの提供など、外国人観光客の受入環境の整備を進めました。

尾高城跡発掘調査が日本城郭協会 「調査・整備・活用賞」を受賞

尾高城跡の発掘調査の取り組みが、日本城郭協会の「調査・整備・活用賞」を受賞しました。現在進行中の米子城跡の整備・活用との連動を可能にし、山陰地域の戦国史をより豊かにすることが期待できる点が評価されました。



米子・境港間の高規格道路 事業化に向けて前進

米子ー境港間の高規格道路について、事業着手の前提となる「計画段階評価」の手続きが始まりました。概略ルート案などを検討するためのアンケート調査や、分かりやすく検討内容を紹介する「オープンハウス」の実施など、事業化に向けて前進しました。

どらドラパーク米子市民球場 リニューアル

どらドラパーク米子市民球場の改修工事が完了しました。スコアボードをLED化し、試合を盛り上げる画面演出やスピードガンによる球速表示が可能となったほか、放送・照明設備や内野スタンド席などを更新し、プレーと観戦の両面で環境を整えました。

官民連携・泳力向上学習モデル事業を 小学校4校で実施

学校外の屋内温水プールを活用した小中学校の水泳授業を市内4校で開始しました。天候に左右されず実施できることや、専門のインストラクターと連携しながら指導することで、児童生徒の泳力向上を図ることが目的です。今後は実施校を増やす予定です。

東京 2025 デフリンピックに 米子市出身の小林優太選手が出場

聞こえない、聞こえにくい人たちの国際スポーツ大会「東京 2025 デフリンピック」に、米子市出身の小林優太選手がハンドボール日本代表主将として出場しました。初出場の日本は大会初勝利を挙げ、小林選手は初戦でチーム最多の5得点を上げるなど活躍を見せました。



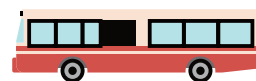
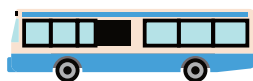


特集

バスでGO!

私たちの日々の暮らしを支えてくれる、大切な移動手段「バス」。米子市内では、だんだんバスへのICOCA（イコカ）導入や、弓浜地区と箕蚊屋地区でのコミュニティバスの実証運行など、バスを利用しやすくするための取り組みを充実させてきました。さらには、新たに米子駅～とりだい病院間で自動運転バスの実証運行も始まっています。まちを走るバスの今を、ご紹介します。

☎ 交通政策課 (☎ 23-5274)



めざすのは、公共交通を活かした 持続可能なまち

米子市では、これからの未来のために、車がなくてもまちなかや郊外で生活できるよう、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めています。

めざすのは、「公共交通を活かした 持続可能なまち」。

免許を持っていない人や免許を返納した高齢者など、さまざまな人が暮らしやすいまちとなるように、大切な移動手段であるバスなど公共交通の利用促進に取り組んでいます。

公共交通で
歩いて楽しいまちへ





米子を走るバスが、どんどん便利に！

毎月第3日曜は無料！ バスでGO! 運賃無料DAY



毎月第3日曜日は、米子市内を走る日ノ丸自動車・日本交通の路線バスと米子市循環だんだんバスの運賃が無料になります。普段はバスにあまり乗らないという方も、この機会にぜひ利用を！

▶ 運賃無料の日（3月は2回）

1月18日（日）、2月15日（日）、
3月15日（日）、3月22日（日）

▶ 対象外の路線

空港連絡バス、日本交通の大山町内路線、高速バス、安来市広域生活バス

乗車方法など、くわしくは▶



「バスキタ!」で バスの現在地が分かる！



「バスキタ!」はバスの運行情報をスマートフォンなどで確認できる便利なシステムです。時刻表や運賃、バス停の位置が確認できるほか、「バスが現在どこを走っているか」が分かる機能も。バスが来る時間に合わせて自宅などを出発でき、雨や雪の日も安心です。

▶ 米子市内の対象路線

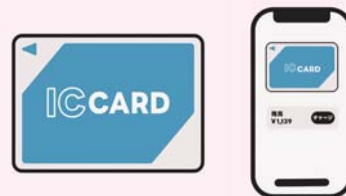
日本交通・日ノ丸自動車の路線バス、米子市循環「だんだんバス」

▶ 利用料 無料

ご利用はこちらから▶



だんだんバスでICOCA! 今後は路線バスでも



米子市循環「だんだんバス」では、交通系 IC カードの ICOCA（イコカ）が使えます。Suica（スイカ）やPASMO（パスモ）など、相互利用可能な交通系 IC も利用OK。今年の春には市内の路線バスでも使えるようになる予定です！

▶ 利用方法（だんだんバス）

降車時に、運賃箱付近の IC カードリーダーに ICOCA をタッチ
※スマホ版の「モバイル ICOCA for Android」、「Apple Pay の ICOCA」も利用可能です。

※バス会社や車内での販売・チャージはできません。

／ 未来のバスがやってきた ／

自動運転バスの実証運行スタート



米子市では、バスの運転手不足などに対応するため、自動運転技術の早期社会実装に向けた取り組みを進めています。実証運行の期間中は無料で乗車できますので、ぜひ未来のバスを体験してみてください。

▶ 区間 米子駅～鳥取大学医学部附属病院（途中乗車・下車は不可）

▶ 期間 12月22日（月）～2月27日（金）（平日のみ運行）

※土日祝・年末年始の運行はありません。

※運転席には、非常時対応のための運転手が同乗します。

※乗車の際は、アンケートにご協力ください。



自動運転バスを 貸切で利用しませんか？

平日の午後、自動運転バスを無料で貸し切れます！自治会や学校など団体の申し込みも可能です。

▶ 対象 市内にお住まいの方

※ただし、1回の乗車につき6人以上10人以内

▶ 区間 米子駅～とりだい病院

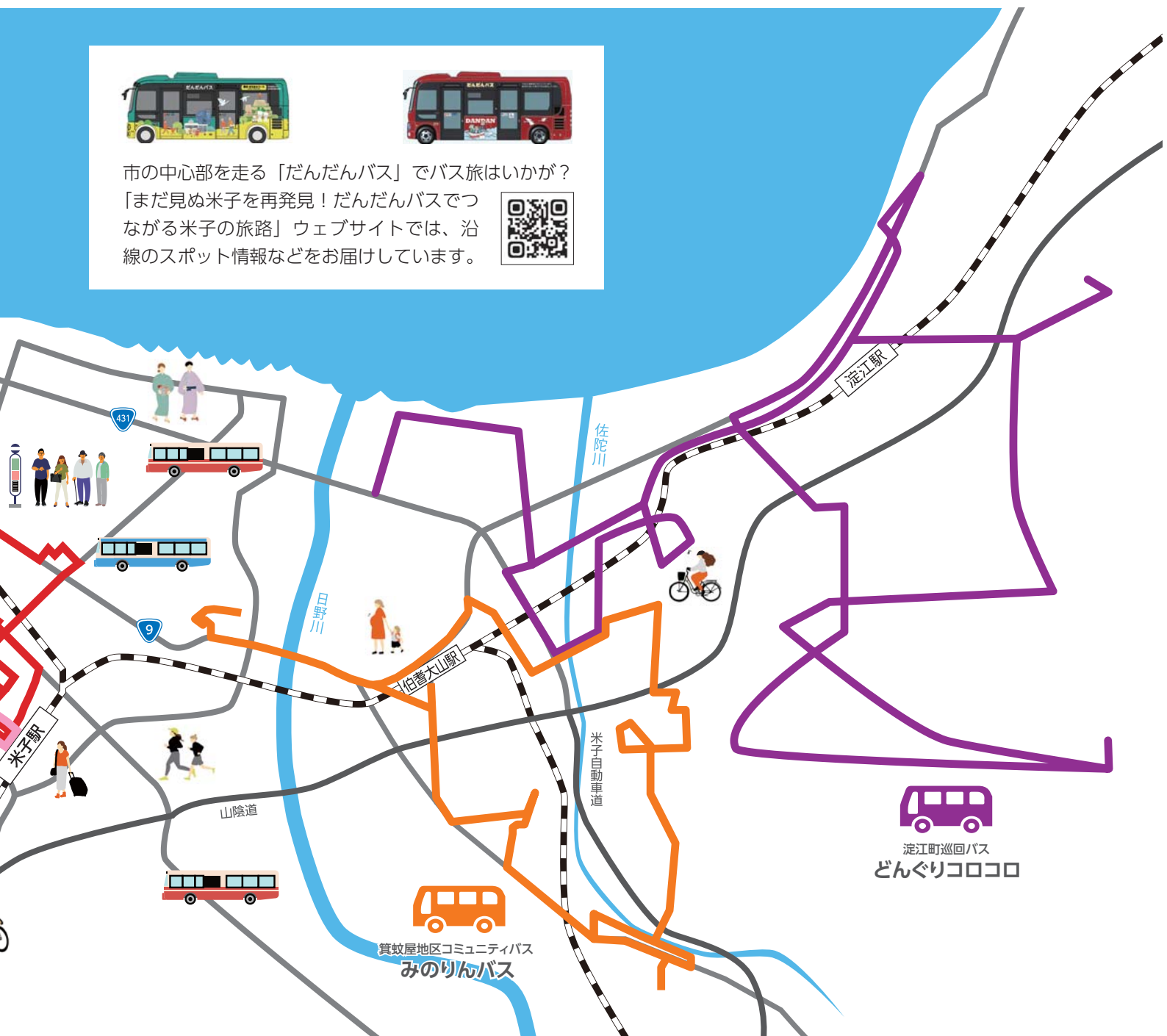
▶ 申込方法 Web

▶ 申込期限 2月中旬

中心市街地をつなぐ



市の中心部を走る「だんだんバス」でバス旅はいかが？
「まだ見ぬ米子を再発見！だんだんバスでつながら米子の旅路」ウェブサイトでは、沿線のスポット情報などをお届けしています。



箕蚊屋地区コミュニティバス

みのりんバス



箕蚊屋地区の商業施設や病院、米子医療センターなどを巡回するバス。運行は月～土。（日祝・年始は運休）

運行ルート
・時刻表▶



淀江町巡回バス

どんぐりコロコロ



主に淀江町内を巡回するバス。運行は月～土。（日祝・年始は運休）

運行ルート
・時刻表▶



市内を走る！ バス図鑑

弓ヶ浜コミュニティバス よねぎーバス



弓浜地区の商業施設や病院、博愛病院などを巡回するバス。運行は月～土。(日祝と年始は運休)

運行ルート・時刻表▶



米子市循環バス だんだんバス



市の中心部で運行しています。車両は2種類で、ICOCAに対応。

運行ルート・時刻表▶



米子駅～とりだい病院 自動運転バス



米子駅～鳥取大学医学部附属病院の区間で実証運行をしています。期間は2月27日(金)まで、平日のみ運行。運賃は無料です！

バスが郊外と



日ノ丸自動車・日本交通 路線バス



買い物や通院、通学、通勤など、私たちの毎日の暮らしを支えている路線バス。毎月第3日曜日は「バスでGO！運賃無料DAY」で、米子市内を走る路線バスなどが無料になります。

